

平成27年度の計画

塾長 渡邊 隆

昨年度の上越はつらつ元気塾は、「電力から考える上越の元気」をテーマに活動した。5月28日の総会後のプレゼミでは西山耕一さん(元県立高校校長で郷土史研究科)から「上越の電力開発と私たちの暮らし」と題して講演をいただいた。関川の電力開発は、明治36年より始まり、多くの開発が行われた。中でも、明治40年に建設された蔵々発電所は、新潟県最古の発電所で現在も稼働している。昭和9年には東北電力の前進である上越電気の技師、国友末蔵が野尻湖を活用して「池尻川揚水式発電所」を建設した。この「揚水式発電」は活気的な発明だった。池尻川発電建設により「1本の関川を2本に利用するものだ」と称され、「水田約1万町歩が水不足から救われた。」という。同時に農村の電化が進み、天候などに左右されない労働力の平均化と省力化へ寄与した。こうした電力開発は農業との共存をはかりながら、同時に産業を育成するための大きな促進力であったという。

その後7月には中部電力の火力発電所の見学会、10月には蔵々発電所と池尻川揚水発電所の見学会を行った。

そして、11月6日に「関川がもたらす恵-電気事業の発展-」のテーマで東北電力(株)上越営業所長荒川聡さんから塾講義をいただいた。荒川さんからは、新潟県内の電気事業の歴史と上越地域における電気事業のお話を伺った。上越地域は何故「東北電力」なのかの「なぞ」が理解でき、興味深かった。引き続いてのトークセッションでは「関川水力から探る上越の元気」をテーマに、西山耕一さん(郷土史研究家)、藤井修さん(関川陽水農業利用事業所所長)、鈴木浩さん(東北電力(株)高田技術センター制御所所長)から「電力」をテーマに上越の元気を多方面から探っていった。

こうした勉強を通して電力が私たちの生活の中でいかに重要であることが具体的に理解できた。また、関川水源に建設された特色ある発電所、それとともに発展した農業、工業は2015年3月14日に開通した北陸新幹線の事業を支えた大きな柱であることは間違いない。

そして、活動の新しい取り組みとして、11月8日に「ウォーキング&健康づくり体験」を行った。二つのウォーキングコースと健康づくり体験コーナーを設け、約200名の一般市民の方々からの参加を得た。参加者には家族での参加もあり、今後の継続の声も聞かれた。何らかの形での継続を検討していきたい。

さて、今年は前島密の生誕180周年にあたる年で、全国で各種の催し物や講演会などが開かれる予定だ。前島密は上越で生まれ、この人も郵便の父として知られるが、その他には多種多様な事業を手掛け、近代日本の政治、経済を動かした人だ。前島密の業績は国友とは別の意味で上越の文化の一面を見せてくれる。「前島密」を育てた上越地域の背景をさぐることから「上越の元気」を探る旅に出たいと思う。

今年も会員の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



上越はつらつ元気塾

平成27年度テーマ「前島密を生んだ上越の秘密」

プレゼミ「上越を元気にした前島密」

参加無料

「上越の元気の源」を掘り起こし地域に生かす上越はつらつ元気塾では、平成27年度の活動テーマを「前島密を生んだ上越の秘密」としました。そのプレゼミとして、下記の通り話題提供を行ないます。ご友人をお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

●とき **6月1日(月)午後5時40分～6時30分**

●ところ 上越市西城町 **学校教育実践研究センター(上越教育大学)**

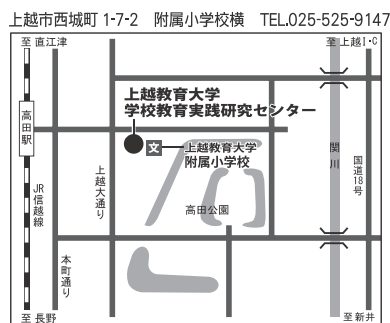
●話題提供者

郷土の偉人 前島密翁を顕彰する会 会長

ほりい やすのり
堀井 靖功 さん

テーマ

「上越を元気にした前島密」



○参加者数／52名

「見学会：前島記念館」

樋口館長からご案内いただき、前島記念館の見学を行ないました。

市内の郵便局で職場体験をしている中学生3名も参加して開催しました。

○とき／平成27年7月7日(火) 午後1時30分～3時

○ところ／前島記念館

○参加者／13名



「見学会：高田郵便局」

めったに入ることのできない高田郵便局で、郵便のしくみや稼動する機械仕分けの様子を見学しました。局内は、個人情報があるため、撮影不可でした。

○と き／平成 27 年 10 月 20 日(火)午後 2 時 30 分～3 時 30 分

○ところ／高田郵便局

○参加者数／15 名



市民塾

1835年に「日本郵便の父」と称される前島密が上越市下池部で生まれ、今年が生誕180年。前島密は郵便制度をはじめ、海運、新聞、電信電話、鉄道、盲人教育、保険など、日本近代文明に多大な功績を果たしました。前島密を生んだ上越の秘密を探る塾を開催しました。一般市民の当日参加者が多い塾でした。

上越はつらつ元気塾

平成27年度テーマ「前島密を生んだ上越の秘密」

と き 11月12日(木) 18:00～20:30

と ころ 上越教育大学 学校教育実践研究センター

PROGRAM

◆開会挨拶 特定非営利活動法人 上越はつらつ元気塾 塾長(新潟県立看護大学 学長) 渡邊 隆

18:10～ シーン1 塾講義 「前島密が考えた近代日本」
前島記念館 館長 樋口 嘉和 さん

19:05～ シーン2 トークセッション「前島密を育てたふるさと上越」
郷土の偉人 前島密翁を顕彰する会 会長 堀井 靖功 さん
津南町立上郷小学校 校長 泉 豊 さん
上越市教育委員会 教育長 中野 敏明 さん
アドバイザー : 前島記念館 館長 樋口 嘉和 さん
コーディネーター: 上越はつらつ元気塾 塾長 渡邊 隆

◆閉会挨拶 特定非営利活動法人 上越はつらつ元気塾 副塾長(上越教育大学 学長) 佐藤 芳徳

○参加者数／50名



上越はつらつ元気塾 参加者アンケートから

(平成27年11月12日)

- ・子供の頃から志高く、人脈にめぐまれ、多くの人に愛された、不思議な魅力のある温かい人柄がよくわかりました。(妙高市・60代・男性)
- ・今回初めて元気塾に参加させて頂きました。ありがとうございました。郷土の偉人であり、実は私は、同じ津有生まれで津有中学校(現：雄志中学校卒業生として尊敬している方の話を聞かせていただき、思い切って参加させて頂き本当に良かったと思います。ありがとうございました。(市内70代・男性)
- ・郵便の父「前島 密」として前島 密を認識はしていたが、様々な業に力を注いでいた事を知ることができ良い機会となった。上越にいても密の事を知らない人は多くいるのではないかと思う。上越出身の偉人を知り、郷土に誇りを感じ、もっと上越を外へ発信しても良いのではないかと思えた。多くの人に上越を知る機会が増えれば良いと感じた。(市内30代・男性)
- ・郷土の偉人、前島 密のことがよく、より一層分かりました。今までは密の業績やら母親の偉さばかりを話されていたが、今回は「上越の秘密」について語られたこと。密に限らずこの地出身の偉人達は、上越の気風が育ててくれたものと思う(勿論、ダントツは密さんである)。(市内70代・女性)

「ウォーキング&健康づくり体験」

心と体の健康を目指し、ウォーキング&健康づくり体験を実施しました。2年目となる今年も、新潟県がすすめる「歩こうNIIGATA大作戦本部」とも連携し、新潟県元氣大使の江口歩さんと今井美穂さんをゲストに迎えて開催しました。体育館内での健康体験、特に看護大生のコーナーが人気でした。



歩こう NIIGATA 大作戦

ウォーキング&健康づくり体験

参加無料!
参加者大募集!

新潟県元氣大使 江口歩さん、今井美穂さんと一緒に、ウォーキングで気持ちのいい汗をかき、健康づくりを体験してみませんか?
親子大歓迎! お気軽にご参加ください。

★日時 11月1日(日)
午前10時～午後1時(受付:9時30分～)

★会場 新潟県立看護大学 体育館
(上越市新南町240番地)

★内容

- ウォーキング
【コース】(約5km)
看護大学発着→高田城跡ウォーキングコース
(県健康ウォーキングロード)
- 健康づくり体験
 - ・肺年齢をはかってみよう
 - ・健康相談
 - ・体組成計で筋肉量チェック
 - ・整体施術
 - ・看護大生による血圧測定、ハンドマッサージ 他

★参加費 無料

★申込方法
電話、FAX、メールで、名前・性別・年齢・住所・日中連絡がとれる電話番号をお伝えください。FAXの方は裏面の申込書をご利用ください。10月28日(水)までにお申し込みください。
※当日参加も可能ですが、参加者数把握のため、できるだけ事前にお申し込みください。
上越はつらつ元氣塾事務局
新潟県上越市高土町1-8-3 TEL: 025-521-2627 FAX: 025-520-4151
ホームページからお申込みいただけます
※当日は、動きやすい服装、歩きやすい履物(体育館内では内履きが必要です)で、お茶などの水分や帽子等も忘れずにお持ちください。






・北陸自動車道・上越インターから車で10分
駐車場は看護大又は中央病院をご利用いただけます。

主催/NPO 法人上越はつらつ元氣塾、歩こう NIIGATA 大作戦本部、新潟県
協力/新潟県立看護大学、上越歩く会、望月整骨院 協賛/コカ・コーライーストジャパン㈱



「日本郵便の父」 「余地の人」

前島密の功績に感銘

特定非営利活動法人上越はつらつ元気塾(塾長・渡邊隆 県立看護大学長)は7日、上越市下池部の前島記念館で見学会を開いた。市内外から14人が参加し、「日本郵便の父」前島密の功績について樋口嘉和館長から話を聞いた。

同法人は平成18年、7月に法人として正式に設立。市民を元気に地域貢献を掲げる上越教育大、県立看護大などが中心となって実行委員会を発足。同22年

80年を記念して「前島密を先だ上越の秘密」をテーマに、関連施設の見学会や講演会を行う。

樋口館長は前島密について「余地を持つて行動し、秘の下の力持ちになることを願(いと)うな」が口癖だったと話し、郵便のみなす鉄道開業や陸運元社(現日本通運)、早稲田大設立などに尽力したことを紹介。「教育熱心な母や叔父を、幼少期から学問環境に恵まれ

上越はつらつ元気塾

記念館で見学会 樋口館長が人物像解説

さまざまな交流の中で人と触れ合う力を培ったから、これほどの偉業を成し遂げられたのでは」と話した。

職場体験で参加した城西中2年の霜村匠君(13)は「歴史に残る人が上越出身だったことに驚いた」と話した。

同法人は、郵便局見学会や1月に講演会を予定している。◇写真：樋口館長(中央)は前島密を「余地の人」と評し、余裕を持つて行動する実践主義者だったと話した。

(上越タイムス 平成27年7月8日掲載)

郵便の父 功績学ぶ

上越 NPO法人「上越はつらつ元気塾」(塾長・渡邊隆 県立看護大学長)主催の講座が7日、前島記念館で開かれ、参加者は「日本近代郵便の父」と呼ばれる地元出身の前島密について学んだ。写真＝



講師を務めた樋口嘉和館長は前島が母子家庭に育ち、12歳の時に医学を学ぶため江戸へ出たと説明。「勉強好きで心配りができる子で、周囲からはかわいがられたようだ」と話した。

(新潟日報 平成27年7月10日掲載)

政府の通信部門の長官だった前島の発案により1871(明治4)年に郵便事業がスタートしたことについては「日本を世界から一流国と認めさせることを目的にしていた」と意義を述べた。

参加した城西中2年霜村匠君(13)は「歴史に残る人が上越出身だったことに驚いた」と話した。

快歩 快汗

高田公園でウォーキング大会

「秋晴れ会話紅葉楽しみ5キロ」

健康づくりのため、歩く習慣を身に付けてもらいたいと、ウォーキングのイベントが先週、上越市内で開かれた。約100人の参加者は木々の紅葉した高田公園を歩き、心地よい汗を流した。写真



「NPO法人「上越はつらつ元気塾」や、県ウォーキング協会などで行く「上越ウォーキング」が主催。A大作戦本部」などが主

健康づくりのため、歩く習慣を身に付けてもらいたいと、ウォーキングのイベントが先週、上越市内で開かれた。約100人の参加者は木々の紅葉した高田公園を歩き、心地よい汗を流した。写真

健康へ
一歩一歩

偉人「前島密」を学ぼう 12日夜、講座を開催

上越中のNPO法人「上越はつらつ元気塾」が主催。12日夜、講座を開催

「前島密」をテーマにしたトクセツコンもある。無料、事前に申し込み。当日参加も可能。元気塾、025(52)12627。

(新潟日報 上越かわらばん 平成 27 年 11 月 10 日掲載)